

Paradise Ragoon

パラダイス・ラグーン

※警告! この先はマスター以外は読んではいけません!

●シナリオの準備

このシナリオでは、歌姫は自由に選ぶ／作成することが可能ですが、シナリオ中で歌姫には様々な役割が割り当てられます。

ですので、事前にプレイヤーの使用する歌姫が分かっている場合には、あらかじめ「役割」を割り振っておくことをお勧めします。歌姫PCには対応していないので、その場合は一部のイベントを変更する必要があります。

また、このシナリオは、GAME ぎゃざの(2004年)8月号のRPGルリルラのコーナー内で説明されている、マスター用アドバイスの「歌姫」の項に関連しています。GAME ぎゃざをお持ちの方は目を通されておくことをお勧めします。

●シナリオの開始

シナリオはハルフェアの南の海岸、ルリルラ南方の沿岸の村、テリアン村からスタートします。村の正確な場所は、キャンペーンなどの話の都合にあわせて、適当に決めて構いません。

テリアン村とその周辺については、「地図A」を参照してください。

プレイヤーの英雄たちは、ただ命の洗濯をするために、または別の任務のために、海岸の街道を移動中にテリアン村に立ち寄ったということにすれば良いでしょう。後者の場合、別の任務の集合タイミングまでにはまだ5日ほど余裕があることにします。

それ以外の状況でも、英雄たちの自由時間はあと5日程度、ということにしておいてください。

●テリアン村

人口200人(70家族)ほどの小さい村です。海岸の街道沿いの村なので、旅人向けの宿屋や酒場、店、馬商人などの設備は整っています。ただし、奏甲の修理・維持用の施設はありません。

気候はひとことで言うところトロピカル、村にものんびりしたムードが溢れています。村の主産業は漁業ですが、旅人相手の商売も盛んです。ゲームの展開上、その必要が出てきたら(奏甲が破壊され、プレイヤーの一人が脱落の危機を迎えた場合など)、実は引退した奏甲女戦人の個人的な工房が見つかって、修理してもらえとか、話をでっちあげてもOKです。

PC英雄たちが夕方ごろ村に着き、英雄たちは今晚の宿と奏甲の置き場、歌姫たちは補給品を買いに行ったところから、このお話は始まります。

●発端：マユツバ話

買い物に行った歌姫の一人が、得意気に英雄のもとに戻ってきます。聞けば、見知らぬ男に「格安(6割引)」で海賊王の財宝マップを売ってもらったとのこと。

見ると、実にうさんくさそうな地図があり、後に聞き込みをすると、村の南東にある島の地図らしいことがわかります。その歌姫のPCの所持金をただちに40万G(所持金が40万に満たない場合は、所持金の50～70%)減らしてください。

ここで歌姫を、

- ① 財宝マップを信じる派
- ② ハナから疑っている派
- ③ どうでも良い派

の3つに分けて、歌姫同士の言い争いを演出してください。①～③はそれぞれ①楽天的／純真／世間知らず派、②現実派、③そもそも関心ない派で分けます。

より具体的には、②の歌姫が地図を買って来た歌姫に説教をかまし、地図を買って来た歌姫+①の歌姫が「そんなコトないもん」と、それに反論、という流れで進めてください。

マスターは、歌姫のセリフをすべて説明するのではなく、決めセリフだけを言い、それ以外の流れは、「歌姫Bがかんかんに怒っています」「歌姫Cはふくれてしまいました」などと流すのがコツです。

英雄は歌姫たちをうまくなだめ、パーティの和を保つことができるでしょうか? 自分の英雄に加勢してもらえなかった歌姫は、ヘソを曲げるでしょうから、怒りか悲しみの優先感情を入れ、「絆ゲージ」を低下(－2ほど)しても良いでしょう。

また、③番の役の歌姫が目をはかして、「何にせよ南の島で、バカンスですね! 私、水着を買ってきますー」とはしゃぎだし、混乱に輪をかけてくれます。

日数に余裕があるので、①のグループの歌姫の主張や、財宝探しを名目にバカンスに行きたがる歌姫(③のグループ)たちの意見に引きずられ、結局、英雄たちは島に向かうことになります。そうならない場合は、歌姫を使ってそのように誘導してください。

また、ここで、今回行く島と財宝探しの冒険に関しての「相性」チェックを行うと良いでしょう。

●島への移動

財宝マップは、どうも村の南東にあるシヴィル岩礁帯のマイソス島を示しています。この岩礁帯は、無数の水面下の岩礁と、予想のつかない潮流があるために、漁師たちも近づかない海の難所だそうです。こうした情報入手は、村の漁師との「交渉」チェック、または酒代をばらまくことで行えます。

島に行くには奏甲を載せられるような大型の漁船を何隻か雇い、岩礁帯の入り口まで行き、そこで奏甲に乗って海底(といっても浅海ですが)を歩いて行くのが良い方法です。PCが困っている場合には、ハルフェア出身か海に親しい歌姫に提案させてください。

ちなみに奏甲は「生活防水」なので、少しなら水に濡れても大丈夫です(30分以上浸かっていると、コクピットへの浸水が始まります)。海水が奏甲の武器(特に火器類)に及ぼす影響については、マスターが適宜判断してください。

島までは4～5時間もあれば行けることがわかります。また、島への遠征には、歌姫も全員同行したがりです。